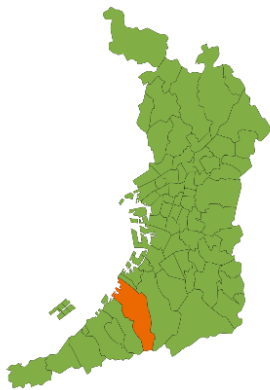


大阪府岸和田市

景観資源活用による景観意識の向上と 地域の賑わい・活性化への影響



【活動の基本情報】

参加学生数：10名

(1年生：4名、2年生：5名、3年生：1名)

活動期間：2021年5月～

担当教員：堀田祐三子

1. 活動実施の経緯

2021年度に続き「岸和田市こころに残る景観資源発掘プロジェクト」で選定された景観資源の利活用について検討する。「こころに残る景観資源」を広く市内外へアピールし、市民の景観意識の向上、地域への愛着やシビックプライドを高めることを企図する。

2. 活動の内容

定期的集まり、岸和田市の景観資源の活用についてメンバーで話し合いを重ねた。

8月には、岸和田城、紀州街道、久米田池などの景観資源を現地で確認した。また、岸和田市役所都市計画課の担当者の方々に活動の進捗報告を行い、景観資源を活用したイベントの開催についての助言をいただいた。

11月には、景観資源を活用したウォーキングラリーイベントを開催した。岸和田城二の丸公園を起点に、ベイサイドに向かうルートを設定し、40名を超える参加者を得た。ゴール地点では参加者アンケートを実施した(13件回収)。準備から当日の運営まで役割を分担することで各自がすべきことが明確になり、スムーズに事が進んだ。イベント終了後にミーティングを行い、反省点を全体で共有し、次年度への活動に活かすことを確認するとともに、次年度の活動計画を話し合った。

3. 活動を通じて

初めて自分たちでイベントの企画から運営までを体験し、様々な課題点を見つけた。イベントを開催するのかもしれないのか、どのような内容にするのか等で悩んだ時期があったが、やってみないと気づけなかったことも多く、開催して良かったと思う。

活動に参加し、岸和田市役所の方やイベントの参加者、通りかかった人にも積極的に声をかけた。会話に応じてくださる人が多く、人との交流が楽しいと感じた。このように現地で市民の方々と交流し、声を聴くことも景観資源の利活用を考える上で大切な事であると考えている。今回のイベントで学んだことを踏まえて、次年度の活動に臨みたい。

4. 成果ポスター



岸和田市景観LPP





メンバー
 野田和貴② 和泉太輔③ 山田裕大② 岩崎悠花② 青木真結②
 浅田歩美② 石田彪我① 内田真央① 古賀彩① 廣川剛彦①

岸和田景観LPPについて

私たち岸和田景観LPPは、大阪府岸和田市に多く存在する景観資源を広く市内外へPRすることを目的に、岸和田市都市計画課の方々と一緒に活動しています。岸和田市では「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」として、毎年市民から景観資源を募集し、指定する取り組みを行っています。私たちはこれらの景観資源を何か有効活用できないかと考え、岸和田市の景観資源をめぐるウォーキングイベントを実施することにしました。今年度は、イベントの企画や準備、運営などを主な活動として行いました。



ここに残る景観資源
発掘プロジェクト

2021年度春の調査内容

昨年度の春休み期間に景観資源に関する分析とInstagramを使ってのアンケート調査を行いました。まず、2021年12月の現地調査で訪れた23か所の景観資源を、アクセスや場所のわかりやすさ、周辺環境、事前写真との対比などの項目に分け、分析を行いました。景観資源が住宅街の中にあたり、道の一部が景観資源に指定されていたりするものも多く、探すのに非常に苦労したという意見がメンバーの中で多くありました。一方で、写真以上の迫力で圧倒される場所も多くあり、今後の活用へとつながる結果となりました。次に、若者がどのような場所に魅力を感じ、そこへ訪れたいと思う傾向があるのかを知るために、Instagramを利用して景観資源についてのアンケート調査を行い、86人からの回答を得ました。岸和田市の訪れてみたい景観資源を3つ選んでもらう質問では、上位3つはどれも自然に関する場所という結果であり、若者をターゲットにするには自然の豊かさを売りにした周遊ルートや観光ツアーを作るべきなのではないかと考えました。



↑「ここに残る景観資源」の評価分析シート



Instagramでのアンケート結果
(岸和田市の訪れてみたい景観資源)

ウォーキングイベント「きしわだウォークラリー」

11月27日(日)に、岸和田の景観資源を巡るウォーキングイベントを開催しました。イベントを開催するにあたり、円滑に進めていくために、①着ぐるみ交渉等の準備を行う着ぐるみ班、②イベントポスターの制作やイベント情報のPRを担当する広報班、③当日に使用するマップを作成するマップ班の3つに分かれてイベントに向けて準備を行いました。

当日は、天気にもめぐる、40人を超える幅広い世代の方々に参加して頂きました。大阪府が取り組んでいる景観資源のフォトイベントを併せてPRするなど岸和田市の景観資源の魅力の発信に貢献できました。また、スタート地点とゴール地点に設置した着ぐるみの集客効果は予想以上に高く、イベントに興味を持ってもらうためのきっかけを作る役割を果たしました。参加者の方々から「知らなかった美しい景観資源を知ることが出来た」等の意見を頂くなど、参加者の満足度が高い結果になりました。



↑イベントで使用したマップ



↑イベントポスター

アンケート分析

イベントの実施に伴い、参加者が景観資源をどれほど認知しているかについてのアンケート調査を行いました。計13名の方から回答を頂き、そのうち岸和田市内在住の方が5名を占め、市外から訪れた人のほうが多い結果となりました。

ウォーキング中に印象に残った場所を答える質問では、1位から岸和田城、岸和田港、紀州街道・自然資料館と、景観資源に指定されている場所の多くが3位までを占めました。イベントに対する満足度は全体を通して高かったものの、「ウォークラリーの道中にもう少し工夫が必要である」という意見も頂き、着ぐるみだけでなくコース内にも参加者を惹きつける何かを取り入れる必要があると感じました。



イベントで印象に残った景観資源

今後の課題

初めて自分たちでイベントの企画から運営までを担当し、様々な課題点が見つかりました。主な課題として、ルート内の工夫不足やゴール地点のわかりにくさ、スタート地点での参加人数に対してゴールまでたどり着いた人が少なかったこと、往復の時間も考慮したルート設定、アンケートの回収率の低さ、準備段階では段取り不足や各班の共有不足が挙げられます。しかし、それ以上にイベントから学んだことも多くありました。

来年度はこれらの反省点を活かし、3年間の本プロジェクトの集大成として、景観資源の更なる活用方法を考え活動していきます。



合同報告会 当日の様子

大阪府岸和田市

テーマ：景観資源活用による景観意識の向上と地域の賑わい・活性化への貢献

岸和田景観 LPP は、昨年度の春休みに活動した調査の報告と今年度のメインイベントであるウォークラリーの準備から当日に至るまで、そして、参加者の方々が答えて下さったアンケートをクロス分析した結果を報告会の場で発表しました。発表では、お世話になった岸和田市役所の方々が報告会に来てくださり、多くの方々と意見交換等を行うことが出来ました。以下、コメントシートの質問への回答を掲載します。



Q. 「ウォークラリーのコースで、歩くには難しい道があったか気になった。」

A. 歩く中で難しい道は特段なかったが、ゴール地点をショッピングセンターの裏に設定してしまったため、ゴール地点に辿り着けなかった人が多くいたことが課題です。

Q. 「アンケートの回答数が少ないため、サンプルとして不十分ではないか？」

A. 回答者数が少ないためサンプルの信頼度は低いかもしれないが、実際に分析したことによって、予想してなかった結果も見えてきたので、アンケート分析を行って良かったと考えています。